



出版界唯一の専門紙

株式会社 新文化通信社

郵便番号 170-0005
東京都豊島区南大塚2-39-7 ヤマモト大塚ビル
電話 03-3942-5561
FAX編集03-3942-5568
振替東京00170-7-56511
発行人 丸島 基和

本紙購読料金
半年...15,000円(税込)
(毎週木曜日発行)

shinbunkaonline
www.shinbunka.co.jp/

DOD出版センター

「見積もり」、サイトで自由に

POD本、様々なパターンで

光和コンピュータが事務局を務める「デジタル・オンデマンド出版センター」(DOD出版センター)は5月10日、同センターのサイトで、出版社がオンデマンド本の見積もりを「見積もり」が

き、その場で発注できる仕組みを稼働させた。出版社は会員登録したうえ、ページ数や部数、表紙加工、カラー対応などの項目を入力すると、即時に製作費が算出できる。さらに見積書をダウンロード

できる。また、「仮発注」をする。DOD出版センター事務局と最適な印刷方法を相談できる。PDFや底本のスキャンデータの入手方法、校正は出版社に割り当てられるマイページで行え、増刷もできる。

POD本にかかるコストは1頁当たり2.5円。例えば「256頁、A5判、1色」のケースでは基本料180円を加えて1冊当たり820円となる。最小ロットは10冊。光和コンピュータの

浴野英生氏によると、POD本の製作費としては「業界最安値」。ロット数も「再販本としては最少」であるという。大手ネット書店が手がけるPOD本は1冊から請け負っているが、ISBNがつかない非再販本で、割引販売しているため、二の足を踏む出版社も少なくない。

通常、1頁でもカラー頁があると、全頁分のカラー印刷代が必要になるが、同出版センターでは「1頁当たり7.5円」が追加されるだけだ。300部以上の発注にはカバーとスリッパが無料です。

実際の製作については、SCREENグループの(株)メディアテクノロジーが担当。納品期日は約20日間。1タイトルにつき5000円を支払うと「5営業日」で製作する特急便サービスが提供される。

1ページも加えた。5月16日には関西地区の出版社に向けて、兵庫・尼崎市にある研文社の尼崎工場で、実際の製作工程やPOD本を手にしてもらうための見学会を行う予定。小ロット部数出版の可能性について意見交換をする。

刷方法を相談できる。PDFや底本のスキャンデータの入手方法、校正は出版社に割り当てられるマイページで行え、増刷もできる。

浴野英生氏によると、POD本の製作費としては「業界最安値」。ロット数も「再販本としては最少」であるという。大手ネット書店が手がけるPOD本は1冊から請け負っているが、ISBNがつかない非再販本で、割引販売しているため、二の足を踏む出版社も少なくない。

実際の製作については、SCREENグループの(株)メディアテクノロジーが担当。納品期日は約20日間。1タイトルにつき5000円を支払うと「5営業日」で製作する特急便サービスが提供される。

1ページも加えた。5月16日には関西地区の出版社に向けて、兵庫・尼崎市にある研文社の尼崎工場で、実際の製作工程やPOD本を手にしてもらうための見学会を行う予定。小ロット部数出版の可能性について意見交換をする。

1ページも加えた。5月16日には関西地区の出版社に向けて、兵庫・尼崎市にある研文社の尼崎工場で、実際の製作工程やPOD本を手にしてもらうための見学会を行う予定。小ロット部数出版の可能性について意見交換をする。